

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
令和7年度 第7回ハイブリッド開催定時理事会報告

日 時：令和7年9月11日(木) 13時～16時45分

場 所：JSOS ビル 3F 会議室 5 及び Zoom

出席者：

町田 幸男	石井 昭彦	原 勇人	安井 博志	藤江 理枝
廣川健太郎	(欠) 吉田 春彦	下村 真一	小高 令子	西原斗司男
(欠) 畑中 渉	中橋 沙羅	蛭田 伸一	栗田季慎子	
望月 啓治	星 一男	野村 善弥	中島 隆之	監事
赤尾 浩一	石田 英行	古賀 英年	平田 伸也	古屋 寿隆
小田部 拓	武田 豊明	前田 善彦	(欠) 奥井 健吾	佐久間 務
理事 出席者：23名	欠席者：3名			
監事 出席者：2名				

1. 開会

2. 会長挨拶

初歩的な遭難事故が急増している中、JMSCAとしてどう対応していくのか、また登山・SC・組織においてどのような方向を目指しているのか、各方面からの声がある。本年は前回策定した5か年中長期計画の最後の年となっていることから振り返りとともに、今後の中長期計画を策定する必要がある。理事の皆さんには、自分事としてとらえてほしい。

3. 会議成立状況報告

理事数 26名中 23名出席 監事数 2名中 2名出席
(定款第33条、定足数=14名(過半数以上))

4. 議長選出 会長が議長をつとめる(定款第32条)

5. 議事録署名人 会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題

議案第1号 前回理事会議事録の承認について

すでに、内容の確認は完了しており以下のとおり承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第2号 組織管理運営規程改定に係る答申後の対応について

望月専務理事が、登山部、SC部等の答申内容を反映させた新しい改定案を説明した。新たに委員会の下に「部会」という機関を設け、一部の委員会は部会に、これまで同じ委員会内でも全く異なる活動している場合は、その委員会内に2つの部会を設置する案などを提示した。各専門部に持ち帰り協議の上、変更、

追加が必要であれば、9月30日PM5:00までに、報告することが提案され、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第3号 オフィシャルサプライヤー契約について

8月定時理事会において提示した内容について、再度小田部常務理事が配布資料を基に説明し、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第4号 山岳共済会と他社との提携について

8月定時理事会において提示した内容について、再度、廣川副会長、望月専務理事が説明し、異議なく承認された。

棄権 1名（古賀理事） 反対 0名 賛成 22名

議案第5号 取引業者との覚書について

既に締結済みの基本契約の第8条支払い関する条項について、実態に沿った内容にすることを赤尾事務局長が説明し、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第6号 アジアキッズ選手権大会 2025 派遣選手選考基準について

選考基準の内容を栗田理事が説明し、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第7号 第5回千葉カップスピード競技会の公認について

大会の概要を栗田理事が説明し、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第8号 令和7年度 JMSCA 役員研修会実施要項について

了承のうえ議事ではなく、報告とした。報告議案第8号と交換となり、望月専務理事が、資料を基に説明した。

議案第9号 IFSC クライミンググランドファイナルズ福岡 2025 派遣選手選考基準について

選考基準の内容を安井理事が説明し、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第10号 第3回アルパインクライミング懇談会 2025 の開催について

催しの概要について石井理事が説明し、異議なく承認された。なお、良い内容の割に参加費が低いこと、きちんとした収支予算を立てること、当日はyou tubeでも配信予定であるとのことだが、スポンサーを付けられないか、などの意見が出された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

議案第 11 号 補正予算及び資金調達状況について

赤尾事務局長が月次報告と資金状況を、望月専務理事が詳細経過と状況の補足説明をした。9, 10 月の資金確保のために、基本財産 3, 000 万円の取り崩しの必要性を説明し、以下のように異議なく承認された

棄権 0名 反対 0名 賛成 23名

また、上記以外に、来年度末までにさらに 4, 000 万円の資金確保が必要であることから、役員、関係団体への借入依頼をすることの提案を行った。
この提案に対し、第 3 期基金募集に伴う現状の財政、資金状況の説明を含め、加盟団体への臨時追加説明が必要ではないかとの意見が出た。
説明内容と、日程、方法について、検討することになった。
補正予算については、強化委員会会計を精査中。

7. 報 告

報告第 1 号 8 月末時点の主な収支及びキャッシュフローの状況

議案第 11 号で説明済なので割愛

報告第 2 号 後援名義承認申請への対応について

町田会長が、常務理事会で、以下が承認された旨伝達した。

- (1) BEMAC クライミングドリームカップ in 西条 11 月 8～9 日
- (2) 第 2 回瑞牆山登山者集会 10 月 4 日
- (3) 第 33 回日本山岳耐久レース(ハセツネカップ) 10 月 12～13 日
- (4) 「山の日」フォーラム 2025 とちぎ～山と健康～ 10 月 13 日
- (5) 「山の日」フォーラム 2025 ぐんま～山と健康～ 10 月 19 日

報告第 3 号 海外競技団体からの JMSCA 招待状要請に対応するための規定づくりに係る答申及び今後の対応について

望月専務理事が答申内容とともに、今後、SC 国際委員会と規定づくりを行い、改めて理事会に提案する旨を説明。

報告第 4 号 SKIMO 日本選手権開催及びワールドカップ日本代表派遣について

小田部常務理事が説明した。

報告第 5 号 DX(デジタルトランスフォーメーション)の動きについて

望月専務理事が説明した。

報告第 6 号 理事向けの会費及び損害賠償責任保険料の徴収について

望月専務理事が説明した。

報告第 7 号 令和 8 (2026) 年度共済会山岳保険の内容及び保険会社からのお詫びについて

望月専務理事が説明した。

報告第 8 号 令和 8(2026)年度以降の全日本登山大会について

(当初報告議案だったが、審議事項へ取り扱い変更、審議第 8 号と交換することになった。)

石田理事が経緯を説明した。その後 2026 年度は、全日本登山大会を行わない提案について異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

2027 年度は、大阪で当大会を行うことについて異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

当大会の長期的な開催方針は、別途普及委員会で継続審議することになった。

報告第 9 号 国スपोर्ट壁 4 ルート化問題の対応について

望月専務理事が現状を説明した。

報告第 10 号 JMSCA フレンドで扱う資格証について

蛭田理事が、資料の補足説明をした。

報告第 11 号 SC コーチ 1 (岩手会場) 検定結果の承認について

常務理事会で承認された結果の報告。

報告第 12 号 スポーツコーチ資格終了証(JMSCA 発行)の紙ベース送付の廃止について

廣川副会長が調整することとした。

報告第 13 号 公益団体の認定に必要な外部理事・監事について

外部理事ゼロ、外部監事は佐久間監事ということで報告予定。

報告第 14 号 10 月 16 日 JPSO・JOC 等による加盟団体研修について

締め切りまでに参加者希望者は事務局に連絡する。

報告第 15 号 滋賀国スポ組み合わせ抽選会の実施結果について

HP で広報済

報告第 16 号 港区との連携普及事業の報告

藤江理事が経緯と状況の説明をした。

報告第 17 号 2026 年新春懇談会の実施方法について

1/10 に実施、参与会、午後の新春懇談会の内容は例年と同じ。

1/10 AM の内容と、1/11 の指導者研修委員会引継ぎ等は見直し予定。

報告第 18 号 スポーツクライミング競技会ビレイヤー研修会について

報告第 19 号 助成金等実態調査の実施について (2 件)

望月専務理事が、状況を説明した。

報告第 20 号 基金拠出者への定期報告について

望月専務理事が今後の予定を説明した。

報告第 21 号 会員・役員名簿の制作について

望月専務理事が今後の予定を説明した。9 月中に PDF 版を送付したい。

報告第 23 号 会長が JPCA との覚書 (配布済資料参照) 締結した旨説明した。

報告第 22 号 今後の役員派遣ほか渉外等について (9 月～11 月)

9 月 13～14 日 第 5 回ボルダーフューチャーカップ鉾田 (BFC2025)

10月3～5日 第79回滋賀国スポ（会長、畑中副会長）

10月11日 Jr.クライミング体験会 2025 in ロクボク

10月11～13日 安全登山指導者研修会東部地区：岐阜県（野村理事）

10月25～27日 全日本登山大会兵庫大会（町田会長、廣川副会長）

11月7～9日 安全登山指導者研修会西部地区：宮崎県

（廣川副会長、石田理事）

その他 映画「てっぺんの向こうにあなたがいる」を月報に掲載予定

8. 各委員会議事録について

BOXの運用を開始したので、今後、ファイルの収納について望月専務理事が指示をする。

9. その他

石田理事が提出した「第3期基金に付いての近畿地区岳連よりの申し入れ」についての状況確認を行った。

令和7年9月11日

記録

赤尾浩一

以 上